

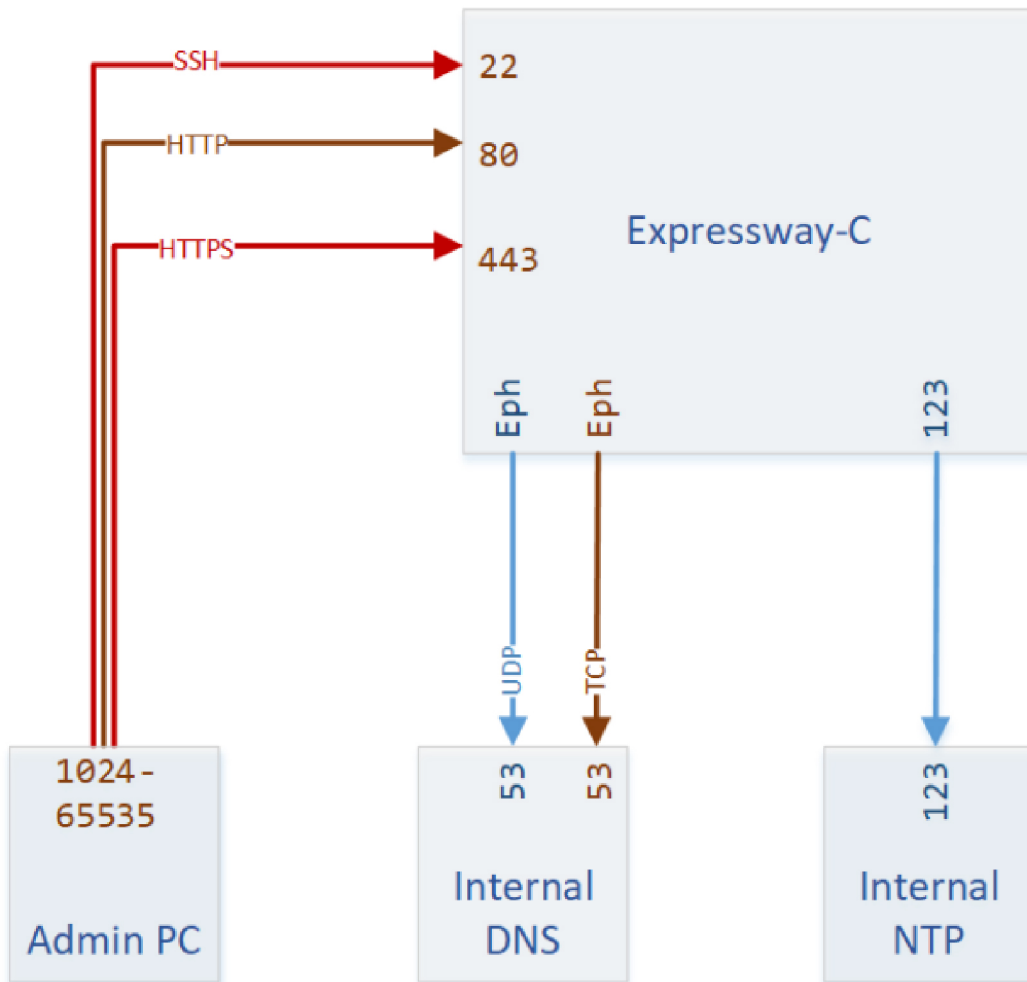


## 基本的なネットワーキング接続

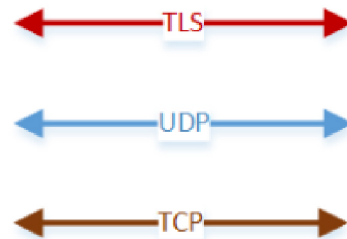
---

- 基本的なネットワーキング : Expressway (2 ページ)
- ネットワーキング ポート リファレンス : Expressway (3 ページ)
- 基本的なネットワーキング : トラバーサルペア (4 ページ)
- ネットワーキング ポート リファレンス : Expressway トラバーサルペア (5 ページ)
- ネットワーキング ポート リファレンス : スマートライセンス (6 ページ)
- ネットワーキング ポート リファレンス : 電子メール通知サービス (7 ページ)

# 基本的なネットワーク : Expressway



## KEY



446143

# ネットワークポートリファレンス : Expressway

表 1: Expressway-C の基本的なネットワークポート

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
管理者 SSH	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-C	22 または 5022 <sup>1</sup>
管理者 HTTP*	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-C	80
管理者 HTTPS	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-C	443
名前解決 (DNS)	Expressway-C	30000 ~ 35999	UDP & TCP §	内部ネームサーバー	53
同期時刻 (NTP)	Expressway-C	123	UDP	内部時間サーバー	123

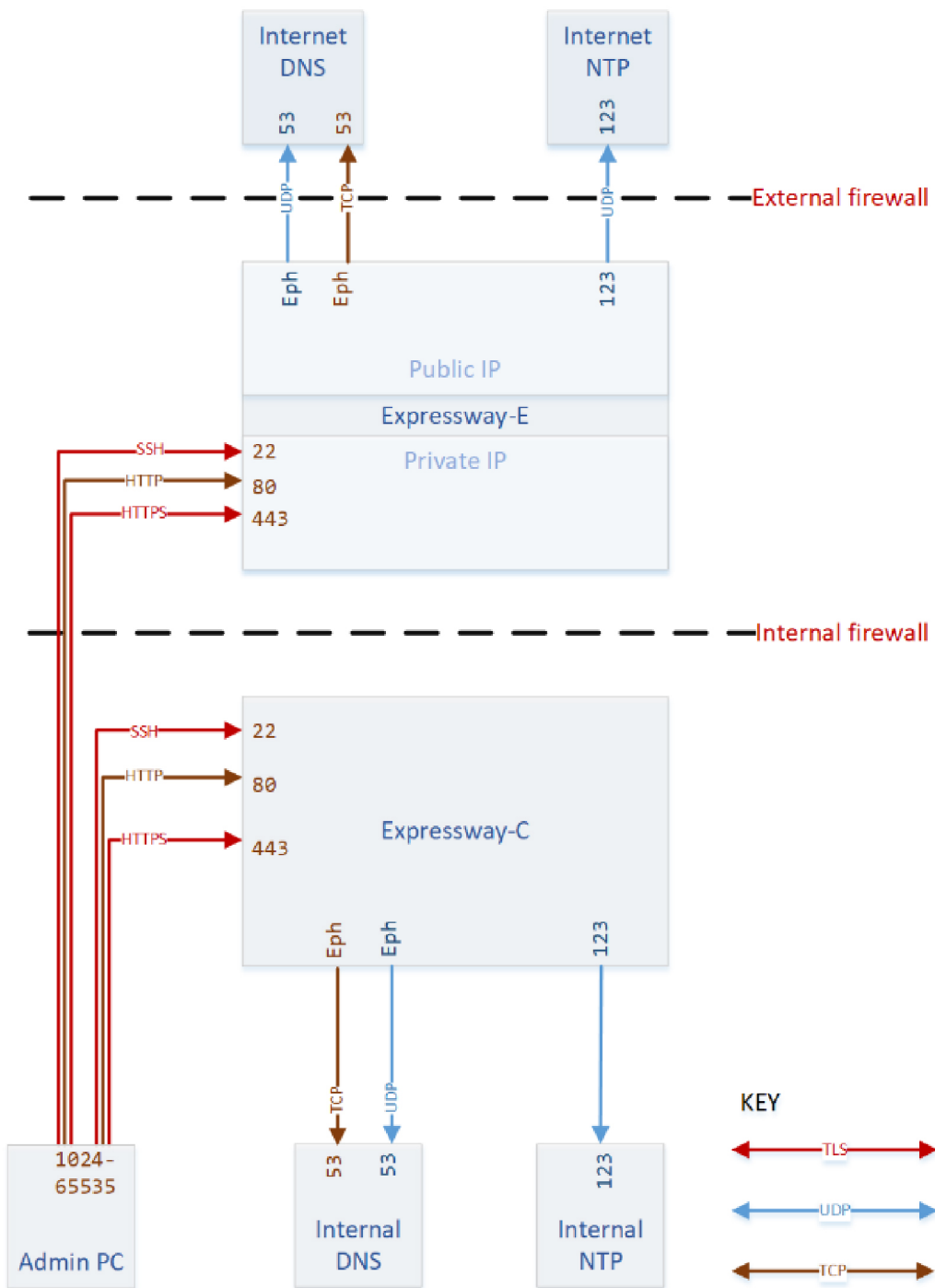
\* Expressway はデフォルトで HTTP を HTTPS にリダイレクトします。HTTP ポートを開く必要はありませんが、便宜上 HTTP を許可し、HTTPS にリダイレクトできます。

§ レスポンスが大きすぎる場合、Expressway は TCP を介して DNS 解決を試みます。



(注) <sup>1</sup>ポート 22 は、Expressway アプライアンスの管理者 SSH ポートとして設定されます。Expressway 仮想マシンは、VM の展開時にポート 22 または 5022 に展開できます。

# 基本的なネットワーク：トラバーサルペア



446142

# ネットワークングポートリファレンス：Expresswayトラバーサルペア

表 2: Expressway-Cの基本的なネットワークングポート

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
管理者 SSH	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP		22 または 5022 <sup>1</sup>
管理者 HTTP*	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-C	80
管理者 HTTPS	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-C	443
名前解決 (DNS)	Expressway-C	30000 ~ 35999	UDP & TCP §	内部ネームサーバー	53
同期時刻 (NTP)	Expressway-C	123	UDP	内部時間サーバー	123

\* Expressway はデフォルトで HTTP を HTTPS にリダイレクトします。HTTP ポートを開く必要はありませんが、便宜上 HTTP を許可し、HTTPS にリダイレクトできます。

§ レスポンスが大きすぎる場合、Expressway は TCP を介して DNS 解決を試みます。



(注) <sup>1</sup>ポート 22 は、Expressway アプライアンスの管理者 SSH ポートとして設定されます。Expressway 仮想マシンは、VM の展開時にポート 22 または 5022 に展開できます。

表 3: Expressway-Eの基本的なネットワークングポート

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
管理者 SSH	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-E プライベート IP	22 または 5022 <sup>1</sup>
管理者 HTTP	管理者 PC	1024 ~ 65535	TCP	Expressway-E プライベート IP	80
管理者 HTTPS	管理者 PC	1024 ~ 65535	TLS	Expressway-E プライベート IP	443

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
内部ネーム解決 (DNS) *	Expressway-E プライベート IP	30000 ~ 35999	UDP & TCP	内部ネーム サーバー	53
外部ネーム解決 (DNS)	Expressway-E パブリック IP	30000 ~ 35999	UDP & TCP	内部ネーム サーバー	53
内部時間同期 (NTP) *	Expressway-E プライベート IP	123	UDP	内部時間サー バー	123
外部時間同期 (NTP)	Expressway-E パブリック IP	123	UDP	外部時間サー バー	123

\* Expressway-E を外部 DNS および NTP に接続することもできます。両方は必要ありません。



(注) <sup>1</sup>ポート 22 は、Expressway アプライアンスの管理者 SSH ポートとして設定されます。Expressway 仮想マシンは、VM の展開時にポート 22 または 5022 に展開できます。

## ネットワークポートリファレンス：スマートライセンス



(注) Expressway にはスマートライセンスサーバーへの接続が必要であり、ポート要件はスマートライセンスの転送設定によって異なります。表に示されているデバイスの詳細を確認します。

表 4: Expressway-E からクラウドへの接続

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
Expressway-E から発信されるスマートライセンスリクエスト	Expressway-E	エフェメラル (30000 ~ 35999)	TLS	<a href="https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license">https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license</a>	443
スマートライセンスダイレクト	Expressway	1024 ~ 65535	TLS	<a href="https://smartreceiver.cisco.com">smartreceiver.cisco.com</a>	443

目的	送信元IP	送信元ポート	プロトコル	宛先IP	宛先ポート
スマートライ センス オンプレ ミス CSSM	Expressway	1024 ~ 65535	TLS	ユーザー設定 のオンプレミ ス CSSM IP/FQDN	443
スマートライ センスプロキシ	Expressway	1024 ~ 65535	TLS	ユーザーが設 定したプロキシ サーバーの IP/FQDN	ユーザー設定 のプロキシ サーバーポー ト

## ネットワークポートリファレンス：電子メール通知サービス

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) サーバーは、暗黙的または明示的な接続用に設定できません。2つの接続タイプの違いは次のとおりです。

- **明示モード**：クライアントは最初に SMTP サーバーに接続します。その後、サーバーは **TLS/SSL 暗号化の切り替えを明示的にリクエスト**します。デフォルトのポートは25と587です。
- **暗黙モード**：クライアントは SMTP サーバーに接続します。チャンネルを確立するとすぐに、サーバーは TLS/SSL 暗号化を **暗黙的にオン**にします。デフォルトの TCP ポートは465です。





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。